

第 89 回 火力専門委員会 構造分科会 議事録（案）

1. 日 時：2016 年 4 月 26 日（火） 13 時 30 分～17 時 20 分
2. 場 所：日本機械学会 第 3,4 会議室
3. 出席者：飯田(東電 FP)、西野（配管技術研究協会）、西田(MHPS 長崎)、妹尾(関電)、
高野(中電)、田村(MHPS 日立)、黒川（川崎重工）

代理者：なし

オブザーバー：野呂(富士電機)

欠席者：豊嶋（MHPS 呉）、大橋（IHI）

事務局：原

4. 配布資料

- 89-1 第 88 回構造分科会議事録（案）
- 89-2 構造分科会委員名簿
- 89-3 第 75 回火力専門委員会議事録(案)
- 89-4 第 77 回発電用設備規格委員会議事録（案）
- 89-5 「発電用火力設備の技術基準の解釈」の一部改正
- 89-6 JESC 功績賞の授賞
- 89-7-1 レビュー票(関電)
- 89-7-2 レビュー票(東電)
- 89-7-3 レビュー票(MHPS 日立)
- 89-7-4 ダブルチェック(西野委員)
- 89-7-4-2 検査用語に係る資料
- 89-8 審議履歴表
- 89-9 作業の進め方

5. 議題

(1) 前回議事録確認

[資料 89-1]

前回議事録（案）について確認を行ない、議事録案は承認された。

・修正箇所 5.(4)1) i) o UHX-13.4(c) 管版 → 管板

(2) 分科会委員・役員の承認

[資料 89-2]

小高委員と黒板委員の退任が報告された。また、西野委員の再任意向、新任候補として野呂氏(富士電機)の推薦が報告され、出席委員全員の賛成により次回火力専門委員会へ推薦することが承認された。

(3) 報告事項

1) 火力専門委員会報告

[資料 89-3]

3 月 1 日開催の第 75 回火力専門委員会の主要項目が報告された。

- 三原委員長が、飯田副委員長、藤田幹事を指名した。
- 第 88 回構造分科会報告
レビュー票審議状況等の報告
- 審議結果報告
 - ・火力設備配管減肉管理技術規格（S TB1-2009）の改訂案の火専書面投票による修正案の審議・承認
 - ・発電用火力設備規格基本規定（2015 年追補）公衆審査版からの変更に関する提案
他 2 件の審議結果報告

2) 規格委員会報告

[資料 89-4]

3 月 15 日開催の第 77 回発電用設備規格委員会の主要項目が報告された。

- ・火力専門委員会(3/1 開催)についての報告。
- ・発電用火力設備規格の追補案の審議
火力設備配管減肉管理技術規格（S TB1-2009）の改訂提案

3) 「発電用火力設備の技術基準の解釈」の一部改正について

[資料 89-5]

2 月 25 日に、「発電用火力設備の技術基準の解釈」が一部改正され、発電用火力設備規格基本規定 2012 年版(2015 年追補を含む)が取り入れられたことが報告された。

4) JESC 功績賞の授賞

JSME 火力設備規格 2015 年追補の策定、JESC 説明において、3 名の功績が大きいことから、規格委員長から JESC へ表彰推薦を行い、表彰されたことが報告された。

- ・材料分科会副主査 伊藤拓哉（IHI）
- ・構造分科会主査 飯田英男（東電）
- ・溶接分科会副主査 樺田訓名理（MHP S）

(4) 審議事項

1) 審議履歴表の確認

[資料 89-8]

審議履歴票記載の残件の内、他の分科会に係るものについて飯田主査から説明があり、以下について確認した。

i) ASME の新規材料の取入れ要否

Ⅱ章で取入れる場合は、構造側でも取り入れることとする。材料分科会のⅡ章 ASME SECⅡ 材(鉄鋼材料)に係る改訂資料を確認する。資料の保存場所は CS キャビネットの

以下のフォルダ。

構造分科会／会議資料／第 89 回／映写のみ

ii) 「検査」「試験」の使い分け

[資料 89-7-4-2]

inspection を「検査」、examination を「試験」、test も「試験」とする。ただし、ASME の 2011 年版までは、「examination」とすべきところを「inspection」と誤用しているところがあり、ASME2013 年版で見直しされているので、ASME の 2013 年版を確認し、「検査」、「試験」を使い分ける。

iii) ASME Sec V Article 4 Appendix VII の取入れ

PW52.1 関連で、上記の取入れについて溶接分科会に依頼を行ったので、構造側では JSME 第 VI 章に取り入れられることを前提に原稿を作成しておく。

2) レビュー票審議

i) レビュー票(関電) Ⅲ章 PG

[資料 89-7-1]

西田幹事が、PG-90.1.14 に記載の ASME Data Report に相当する国内での要求事項の確認結果を説明し、現状記載で問題ないことを確認した。社内であっても独立した部門であれば、第三者検査員と考えて良いと判断。

ii) レビュー票(MHPS 日立) Ⅳ章 UCS, UHX

[資料 89-7-3-1,2,3]

田村委員がレビュー票を説明し、審議を行った。

○UCS-68(a)

- ・ -48.3℃を ASME SI 値に修正する。

○UCS-66(b)(1)(b)

- ・ 48℃を-48℃に修正する。

○UCS-67(b)(1)

- ・ 「本規格」を「本章」に修正する。

○Table UHX-8.1

- ・ 「ローディング ケース」は、「荷重 ケース」とする。

○UHX-13.3

- ・ C_p の定義中の UHX-12.2 は図 UHX-12.2 に修正する。

○図 UHX-12.2

- ・ 「ピッチ」を「パターン」に修正、備考の表現を「 C_p は太線の長さ」等に修正する。
- ・ 図の表題は、下に記載する。

o UHX-13.3

- ・ DJ 定義の「コンボリューション」のルの重複を削除

o UHX-13.4(c)

- ・ 「管板、胴および…制限値に入ること、および、その結果算出されるチューブと管板…許容されることを計算し確認するために」などに見直す。

o UHX-13.5.8

- ・ 2行目「計算される」→「計算できる」に修正する。

o UHX-13.7.1

- ・ 「modulus of elasticity」は JIS も確認し横弾性係数は含まないと判断、「縦弾性係数」に修正する。

o UBX-13.7.3

- ・ UHX-13.7.3 に修正

o UHX-14.4(d)

- ・ 「管板、胴および…制限値に入ること、および、その結果算出されるチューブと管板…許容されることを計算し確認するために」に修正

o UHX-14.5.8

- ・ 「ステップ 3 に戻る」を「ステップ 1 に戻る」に修正

o UHX-14.5.9(a)(1)

- ・ 「表 UHX-13.1」を「表 UHX-13.2」に修正

o UHX-14.5.9(b)

- ・ 「最大の」を文頭に追記
- ・ full strength welds, partial strength welds については、各委員が持ち帰って意味を確認する。

o UHX20

- ・ 計算の単位は SI 単位に換算する（全体）

o UHX-20.2.1(c)(12)

- ・ 「for Loading Case 1」はその前の部分にかかるので、「荷重ケース 1 については」は前の文にかかるように移動する。
- ・ 「要領」を「手順」に修正する。

iii) レビュー票(東電) IV章 Appendix KK 、 補遺

飯田主査がコメントを反映したレビュー票、補遺原稿について説明し、審議を行った。

o 様式例 U-DR-1 と U-DR-2

- ・ 国内実状に合わせて修正されていることを確認した。表 KK-1 の「様式への適用」の欄の印は、ASME の「×」から「し」に変更する。

o 補遺

- ・ 提案とおりとする。

3) 今後の作業の進め方

飯田主査が資料に基づき今後の作業の進め方について説明を行い、11月後半に開催が見込まれる火力専門委員会に改訂提案することを目途に、以下のとおり作業を進めることを確認した。（詳細は、配布資料 89-9 参照。）

○レビュー票の作成

- ・未審議箇所(Ⅳ章 UG-125～14Q、APPENDIX 5、EE、HH、LL、
Ⅴ章 127、APPENDIX B、C、Ⅳ)
- ・要検討箇所(審議履歴表の赤字部分)

○審議済みレビュー票のCS キャビネットへの保存(下記のフォルダへ)

構造分科会/02 規格原稿案・レビュー票案/TA1・2 詳細規定案/03～05 各章/01～03/各項目/02 レビュー票

○年版指定している JIS 引用箇所について、最新 JIS 年版への修正

- ・JIS 年版の確認を行い、改訂されている場合は最新版の取入れを検討する。

○レビュー票ダブルチェック(今後実施)

○原稿作成(今後実施)

○7月の分科会にて審議の進捗状況を確認し、必要により分科会の開催回数を増やす。

4) その他

- ・レビュー票ダブルチェック(西野委員)は次回。

6. 次回開催予定

日 時：2016年7月12日(火) 13時30分～17時00分

場 所：日本機械学会 第4・5会議室

以 上